

Smart City Takeshiba

(実施期間：2019～)

技術テーマ区分番号：⑳

主な実施場所：竹芝地区（東京都港区）

取組活動の内容

事業目的・概要

● 背景

竹芝地区は東京都の「都市再生ステップアップ・プロジェクト」の一つであり、主たる事業者である東急不動産が、国家戦略特別区域計画の特定事業における整備方針に基づき、コンテンツ産業を核とした国際ビジネス拠点の形成を目的に、高機能かつ新しいワークスタイルづくりを推進しています。

ソフトバンクは「東京ポートシティ竹芝オフィスタワー」への本社移転を機に、竹芝地区（東京都港区）において最先端のテクノロジーを街全体で活用するスマートシティの共創を目指して東急不動産と共同で街づくりに取り組むことに合意しました。

2019年7月からモデルケースの構築に取り組んでおり、これらの取り組みの延長として「Smart City Takeshiba」を推進することになりました。

● 概要

竹芝地区において収集した人流データや訪問者の属性データ、道路状況、交通状況、水位などのデータをリアルタイムでさまざまな事業者が活用できるデータ流通プラットフォームや、先端技術を活用したサービスなどを竹芝地区に実装することで、回遊性の向上や混雑の緩和、防災の強化などを実現し、竹芝および周辺地区の課題を解決します。分野を横断したサービスにより、地区の経済的発展と付加価値の創出を目指します。

連携実施者

- 東急不動産株式会社、一般社団法人竹芝エリアマネジメント、鹿島建設株式会社、一般社団法人CiP協議会

関連外部リンク先

- 一般社団法人竹芝エリアマネジメント[<https://takeshiba-am.com/>]
- 一般社団法人CiP協議会[<https://takeshiba.org/>]

イメージ図



図1：竹芝エリアマネジメントが活動するエリア



図2：竹芝地区におけるスマートシティプラットフォームのイメージ

公的資金の活用状況（提供元、資金名、活用期間、スキーム等）

- 東京都（「スマート東京」の実現に向けて先行的なモデルを構築するためのプロジェクト）